

# めぐみイエス・キリスト教会

2024年1月7日(日)第一主日新年礼拝

午前10時より

週報「通算第690号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時~11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時~(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌343「罪に満てる世界」 p. 546

【交読文】 No.38 詩篇第121篇 p. 910

【賛美Ⅱ】 新聖歌486「雄々しくあれ」 p. 780

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「本当の自由」

【聖書朗読】 **マタイの福音書6章31節～34節(新約p. 11)**

【礼拝説教】 《2024年標題聖句から(神の国とその義Ⅰ)》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(マタイの福音書6章31節～34節)

6:31「そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのはやめなさい。

6:32 こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要なことを知っておられます。

6:33 だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

6:34 だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。」

## ●ポイント1.「神の国」の王とは？

### ※ヨハネの福音書12章14節～16節「シュロの日曜日に」(新約p.208)

12:14 イエスはろばの子を見つけてそれに乗られた。次のように書かれているとおりである。

12:15 「恐れるな、娘シオン。見よ、あなたの王が来られる。ろばの子に乗って。」

12:16 これらのことは、初め弟子たちには分からなかった。しかし、イエスが栄光を受けられた後、これがイエスについて書かれていたことで、それを人々がイエスに行ったのだと、彼らは思い起こした。

## ●ポイント2.「神の国」の国民とは？

### ※ヨハネの福音書13章34節～35節「主イエス様の戒め」(新約p.213)

13:34 「私はあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

13:35 互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたが私の弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」

### ※ルカの福音書17章21節後半「パリサイ人への言葉」(新約p.153)

17:21 「見なさい。神の国はあなたがたのただ中にあるのです。」

## ●ポイント3.この世における「神の国」とは？

### ※マタイの福音書18章20節「主イエス様の約束」(新約p.37)

18:20 「二人か三人が私の名において集まっている所には、私もその中にいるのです。」

### ※エペソ人への手紙1章22節～23節「主の体として」(新約p.385)

1:22 また、神はすべてのものをキリストの足の下に従わせ、キリストを、すべてのものの上に立つかしらとして教会に与えられました。

1:23 教会はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです。

## ◎先週の礼拝メッセージ【実に神なのだ】

《今年は、12月31日のおおみそかの日が、第五主日礼拝となりました。そして、今日の礼拝に私たちの教会がサポートする三人の宣教師の先生の一人、松本望美先生が来て下さいました。何と先生は、今年三回も「めぐみイエス・キリスト教会」を訪ねて下さった事になります。

7月30日にタイのチェンライの平山廣恵宣教師のメッセージと宣教報告の時に、9月17日にアメリカのアトランタの斉藤順子宣教師のメッセージと宣教報告の時に、そして今回となります。

今回は、三年ぶりに11月から12月にかけて、三週間にわたって行なわれた「台湾宣教」の報告と礼拝メッセージを語って下さいます。

2020年2月までに、コンタクトを取っていた、日本語を話す台湾人の多くの方々が、コロナ感染による肺炎で召されたとのことでした。

メッセージは、斉藤順子宣教師と全く同じ箇所、ピリピ人への手紙2章13節のパウロの証しからです。『神はみ心のままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせて下さる方です。』

この節の原文を直訳しますと、『実に神なのだ。あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせて下さる方は。』と、なっているとのこと。つまり、神様が強調されているのです。

主権は神様にあります。神様は、私たちのうちの思いに働かれ、私たちに志を起こして下さいます。そして私たちの思いと神様の思いが一致して、互いに調和し、神様の栄光が現わされることとなります。

私たちの思いは、私たちから発せられたものではなく、神様ご自身が、私たちの心の中に、霊的な力によって、与えて下さったのです。

私たちは、この神様の言葉をしっかりと握りしめ、忠実に神様に従いつつ、与えられた志を、神様と共に実現して行くのです。》

## ◎お知らせ

※次回は1月14日(日)となり、通常通り行ないます。また、第4主日は、特別メッセージとなり、前回の特別メッセージの続編となります。